

伊達市は、近年、木材市況の低迷や、少子・高齢化等による林業労働力の減少等から、適正な管理が行われていない森林が増加してきている。このような状況を打開し、本市の林業の活性化を図るために、森林環境譲与税の一部を活用し、林業人材育成支援、林業普及啓発活動等を進め、森林資源を生かした生業づくりを推進する方針。令和元年度においては、以下の取組を実施した。

- ・市内小学生親子を対象に、伊達市産材を活用し、一緒に椅子作りの木育体験活動を実施。併せて木や森の役割等について座学。
- ・林業就業に関わる資格等取得への研修費の補助を実施。
- ・伊達市の森林資源を有効に、利活用できるように、伊達市内の林業従事者への意向調査の実施。
- ・森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源にあてるため、基金として積立。

事業内容

1 森林資源を生かした生業づくり事業(下記の3つ事業を一括発注)

①親子木育体験活動事業

座学による森林の大切さを伝え木に親しむ。アンケートを実施

②林業就業に関わる資格等取得への研修費補助事業

林業に必要な資格等を設定し、林業を志す者を対象に取得補助を実施。

今後の資格活用方法についてのアンケート実施

③林業従事者への意向調査事業

新たな森林管理システムの構築を進める上で、林業従事者からの意向調査等を実施

【事業費】2,508千円(うち譲与税2,508千円)

【実績】①計6回 108名参加

②資格等取得3人

③アンケート調査 13社への配布。11社回収

2 伊達市森林環境譲与税基金条例に基づく基金事業

森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源にあてるため、基金として積立。

令和2年度：伊達市に合った林業施策が提案できる森林プランナーの配置

【事業費】4,611千円(うち譲与税4,611千円)

【実績】基金額4,611千円



(事業1：親子木育体験活動事業)

事業スキーム

1 森林資源を生かした生業づくり事業



工夫・留意した点

- ・本市にとって、林業従事者から建設的な意見が出るように、対面聞き取りを実施。
- ・コロナウィルスが蔓延したため、当初企画していた講演会等を直前に中止した。

基礎データ

①令和元年度譲与額	7,119千円
②私有林人工林面積(※1)	3,188ha
③林野率(※2)	49.9%
④人口(※3)	62,400人
⑤林業就業者数(※4)	23人

※1：「森林資源現況調査(林野庁、H29.3.31現在)」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より